

平成27年度 看護部事業実施 院内研修報告一覧表

教育目的：看護部職員一人一人が責任ある良質な看護が提供できる

教育目標：①専門的知識、技術、態度を高め実践能力を養う

②問題解決能力、指導能力を高められる人材を育成する

③チェックリスト、看護基準を全スタッフに浸透し統一した看護、指導が出来る

④一人一人が主体性を持って生き生きと看護活動に望める

研修名	開催日時	参加者	ねらい	担当・講師	評価
接遇マナー(DVD/症例検討)	4月21日	看護職員 } 30名 介護職員 } リハ職員 17名 MSW 1名	事前にDVD視聴(20分程度) グループに分かれ事例を行ってもらう。	4階 教育委員	①グループワークで意見交換を行い情報を共有する大切さを感じた。 接遇の基本的な内容を再確認できた。 ②今回、グループワークをしてもらい、具体的なケースを想定してのディスカッションだった。好評だった。 ③接遇の基本の見直しの機会になった。グループワークで他職種の人達と交流し話し合いが出来て良かったとのこと。
検体の取り扱い方(講師・検査科)	5月13日 ・5月20日	看護職員 } 33名 介護職員 } リハ職員 0名 他部署職員 0名	検体の出し方、検査技師が不在の対応時の対応について各病棟2名選出し、B型肝炎チェック実際の手法を教わる。	新井 検査技師	検査の一連の流れの際、注意点等を詳しく説明してもらえたので再確認できた。
口腔ケアの個別性について	7月2日	看護職員 } 21名 介護職員 } リハ職員 0名	ブラシの種類についてや、臥床している患者への有効な口腔ケアの方法などを教わる。講義は1回・実際の患者での講義は2回程度 (各病棟代表者2名程度見学・病棟への伝達)	歯科衛生士	専門職からの講義だったので、分かりやすく、すぐ実践できる内容が多かった。
挿管方法の手順について	7月～9月 各病棟で	看護(病棟別)	挿管手順について救急カート・物品確認 (資料作成・やり方は各病棟で。評価はアンケートで確認)	各部署 教育委員	①看護職員 37名、救急搬送の手順を再確認できた。挿管方法の再確認が出来た。 ②各病棟での実習であったが、担当者が詳しくマンツーマンで行い、とても良い企画だった。 ③挿管方法の再認識の機会になった。又、周知されていなかった救急搬送の手順について確認する機会になった。
PEGの管理・取扱い方法について (業者に依頼)	8月26日	看護職員 13名 介護職員 1名 他部署職員 0名	①経管栄養については栄養科へ依頼 ②PEGの器具については事務へ依頼 ⇒内容を具体的に依頼していく	クリニー (KK)	PEGの基本的な扱い方や皮膚のトラブル、在宅での管理方法を学べた。
看護協会受講者伝達講習会① (予定:A群・B群)	中止				

トランスファー、ポジショニング講習会 (講師: 当院PT・OTへ依頼)	9月18日	看護職員 21名 介護職員 リハ職員 15名 他部署職員 0名	褥瘡予防・拘縮予防のポジショニングについての内容を追加して行う。	PT山崎	各患者個人に合わせたポジショニングが必要であることの再確認、意識づけになった。
インフルエンザ、ノロウイルス検査の検体の取り扱いについて	10月14日	看護職員 22名	流行時期前に5月の研修の復習	新井 検査技師	5月に引き続き今回はインフルエンザ、ノロの検体、伝票の取り扱いについて行った。検査科が不在時間帯(夜間、土曜午後、日、祭日)の対応と検査手順の再確認が出来た。ノロの検査手順にかんしては、手順とスワブの見本をファイルし病棟、外来へ配布した。
朝倉Dr勉強会	12月7日	看護職員 24名 介護職員 6名 リハ職員 18名 他部署職員 15名	整形領域のもの、朝倉病院の心構え、リハビリ病棟の基本的知識など、朝倉Drの考えを教えるべく。	朝倉理事長	これからの回復期病院と当院の役割・医療が進んでいく方向性を学ぶことが出来た。チーム医療は重要であり、ケアの質向上に努め、チームで早期退院を目指し、在宅へ繋げられるようにしていく必要があると再認識した。
看護協会受講者伝達講習会② (予定:C群・D群)	2月3日	看護職員 16名 介護職員 6名 リハ職員 12名 他部署職員 4名	院外研修伝達講習会も同時に行います。	研修参加者	「関わる全てのスタッフが、回復期10項目宣言を目標に患者のQOLの向上を目指していく・リハ以外の時間をどう退院後の生活に近づけるか、スタッフ全員の考えを共有し、患者へ提供していきたい」と思った。
所Dr勉強会	2月20日	看護職員 18名 介護職員 2名 リハ職員 17名 他部署職員 1名	内容については、 ①スタッフへアンケート実施以前シャントについて ②高次脳機能障害について ③パーキンソンについて講義して頂く。	所Dr	脳の機能～高次脳障害の方への対応について、実際の症例に沿った説明で、イメージしながら分かりやすく学ぶことが出来たん片参考になった。 せん妄・睡眠障害について、使用薬剤と関連付けて学ぶ機会となった。
診療報酬改定の内容について	3月25日		28年度の診療報酬改定を理解し業務に反映するようにする。	医事課	当病院に係わることのポイントをまとめて説明して頂き、分かりやすかった。

27年度の評価

外来担当……研修内容は良かったと思われる。ただ、出席率となるともっと声かけをすべきであった。来年度は出席率をあげ、皆の共通レベルとして対応できるようにしたい。

3階担当……どの研修においても参加率があまり向上せず、スタッフ一人一人の研修は参加することが前提であるという意識もあまりなく、委員の病棟スタッフへの呼びかけも不足していた。又、今年度は研修数も多くあり、スケジュール調整も困難であった。

教育委員長……「各研修、新しい知識や学んできた情報の再確認の機会となった。」
研修が病棟業務に役立つよう、出席出来る工夫を考え、出席表を導入・早めの日程の提示を行う様にした。また、いろいろな事情で参加できなかったスタッフも同様の機会をつくれるよう、後半より講義のビデオ撮影を開始。院内でいつでも視聴できるようにした。
出欠表は、病棟間で使用の差があり活用できない様子があった為、来年度は使用せず各病棟の委員が参加を促すよう活動することになる。
毎月の勉強会は、参加するのも難しい様子。来年度は、回数を減らし、無理なく研修に参加できるようにしていく予定。